

2017年2月号・特集へのご意見

協働のあり方の大原則を見いだせた

中高連携の必要性を痛感していたため、大変参考になった。互いの指導内容に踏み込んだ取り組みのあり方や、互いを認め合い、よい点を伝えた上で一緒に考えるというあり方に、協働のあり方の大原則を垣間見た気がした。

山形県 匿名希望

中学校での学習スタイルを発展させる授業

これまで「中学生を高校生にする」という声かけの下で初期指導を行ってきた。学習の量や質の変化に伴い、学習スタイルを変えるよう指導してきたが、中学校でのグループ学習などで身につけてきた主体的に深く学んでいく方法を知らず知らずのうちに否定していたような

気がする。入学前に身につけてきた学習スタイルを発展させる授業を考えていかなければならないと改めて思った。

広島県・広島市立沼田高校 正木勝治

互いを認め合うことから始めたい

中学校と高校の相互理解はなかなか難しいと感じている。併設型の中高一貫校に勤務しており、中学校で教える機会もあるため、中学校での学びも理解できるようになったが、中高一貫校でなければ中学校での学びを目にする機会は少ない。中学校と高校の相互理解を図る取り組みとして、「松江市内三校教科・進路指導協議会」の事例は大変刺激を受けた。中学校と高校では異なる文化を持つが、まずは互いを認め合うことから始めることが大切だと思った。

和歌山県 匿名希望

教育ちょこっとーク

テーマ
新年度の
この時期の指導で
してしまいがちな
失敗



- 教師側が1年間継続してできないことを無理してやってしまうこと。例えば、毎週クラス通信を出すと言っておきながら、続かなかったことがある。宣言したことが続かないと、教師への不信感につながってしまう。 大阪府
- あれもこれもと詰め込みすぎること。生徒が「消化不良」を起こしてしまい、その状態があたり前という感覚になってしまうこと。 滋賀県

- 生徒に対して先入観や一方的な決めつけで見えてしまい、高校に入って変わろうとしている生徒の芽を摘み取ることがある。「君にはできない」「無理だよ」は禁句にしている。 北海道
- 性急に結果を求めすぎること。じっくりと先を見て計画すればよい。着実に基礎を固めるのが一番である。 青森県

自分を変えた言葉を募集しています！

「教師を育てた言葉たち」(巻末)のコーナーでは、取材にご協力いただける先生を募集しています。「あの一言で指導観が変わった」「自分を成長させてくれた」という言葉と、それにまつわるエピソードをお待ちしています。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、
必要事項①～④をご記入の上、
下記のe-mailアドレスにご送信ください

- ① 学校名・お名前
- ② 分掌・ご教職歴
- ③ 紹介したい言葉
- ④ エピソード(どんな時に言われた or 出合った言葉か、それによって自分がどう変わったのかなど)

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「教師を育てた言葉たち」の言葉募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時～21時)にて承ります。
(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者)
上記をご承諾くださる方はご送信ください。

編集後記

新装刊の『VIEW21』高校版はいかがでしたでしょうか。編集後記もリニューアルいたします。ここでは、記事でお伝えするのはまた違う取材のリアルを、オフショット写真などを通して編集者が伝えて参ります。1回目の今回は、表紙の取材です。撮影の合間に何となく始まった生徒たちとインタビュアーとの立ち話。その様子を大目木先生は後ろで座って見ていました。それを気にすることもなく、生徒たちは笑顔で先生について語り続けます。その内容に時折涙しそうになりながら、優しく見守る大目木先生。信頼関係が築けているからこそ、この空気、この表情なんだと強く感じた一場面でした。(柏木)



VIEW21 高校版 2017 6 月号

次号は6月23日発行(予定)
『VIEW21』高校版は年6回の発行です